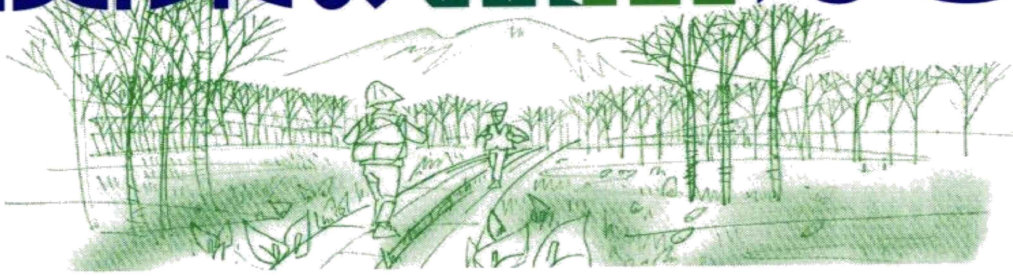


関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



「姥ヶ平からの那須岳」 (栃木県那須町)

(撮影：関東森林管理局 塩那森林管理署)

- ◎ 東日本大震災からの復興
～福島県内での治山事業の再開～ 治山課・・・2
- ◎ 国有林の各森林計画策定にあたって 計画課・・・4
- ◎ 高尾の森から 高尾森林ふれあい推進センター・・・6
- ◎ インターンシップ受入れ 下越森林管理署・・・7
- ◎ 木材を利用した建築物等の紹介 東京事務所・・・8

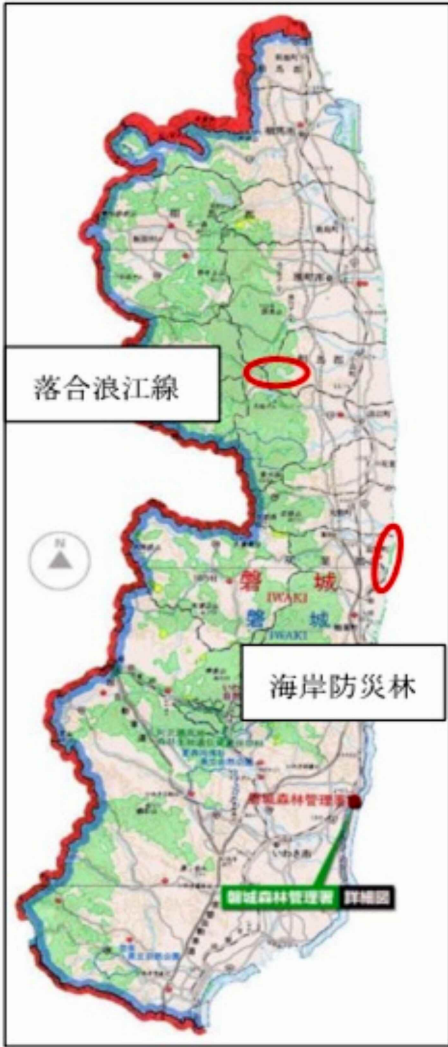
東日本大震災からの復興 〜福島県内での治山事業の再開〜

治山課

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つです。

福島県内において東日本大震災からの復興に向け、再開された治山事業について紹介します。

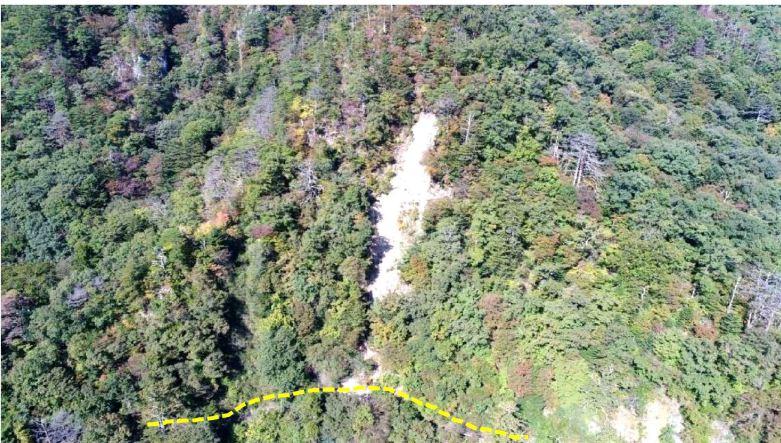
【一般県道落合浪江線の復旧のための治山事業の再開】
福島県双葉郡葛尾村（落合地



区）と同浪江町を結ぶ一般県道落合浪江線は、平成23年3月に発生した東日本大震災により、大規模な斜面崩壊が複数個所で発生し、全面通行止めとされました。更に福島第一原子力発電所の事故による放射線の影響で当該区間が避難指示区域となったことから、復旧に向けた対策を実施できなかつたところですが、

から一時帰宅等の利用のためのルートとして強い要望があることから、福島県において復旧に向けた工事を進めることとなり、関東森林管理局ではこれと合わせて安全な通行を確保するため、本路線沿いの山腹崩壊を復旧する治山事業を実施することとしました。線量計等により放射線量の管理を行いつつ、平成29年度に現地調査を行ない、平成30

年度はのり枠工等の山腹工を実施したところであり、令和元年度についても引き続き対策工を実施してまいります。また、福島県が道路工事を平行して実施していることから、安全のため、接近した作業とならないよう福島県と調整を図りながら、本路線の早期復旧のため治山事業を着実に実施してまいります。



県道落合浪江線上部の大規模な崩壊



山腹工（のり枠工）施工中

【海岸防災林造成事業の再開】

福島県東部の双葉郡富岡町にある太平洋に面した小良ヶ浜国有林は潮害防備保安林、防風保安林に指定されており、背後にある人家・県道・公共施設・農地等の保全の役割を果たしてきました。

当地の海岸線は波浪により、1年に約1〜4mもの激しい浸食を受けていることから、関東森林管理局では福島県及び富岡町からの要望を受け昭和63年度から、浸食を防止して保安林機能の回復・増進を図り、周辺地域の安全・安心を向上させることを目的として防潮護岸工（消波ブロック設置等）を実施してきました。

東日本大震災時の大津波によって消波ブロックが散乱・流出する等の被害を受けましたが、原発事故の影響で事業地が避難指示区域となったことから、当該治山事業は、平成23年度から中断をせざるを得ない状況となっ

ていたところです。

平成29年4月に富岡町の避難指示解除準備区域及び居住制限区域が解除されたことから、福島県及び富岡町の要望を受け、平成30年度に、事業休止期間である8年間の期間延長をした上で事業を再開することとしました。

令和元年度は、東日本大震災の津波で錯乱した既設防潮堤の消波ブロックを復旧（嵩上げ）

被災後の状況（H29. 7. 16）



小良ヶ浜国有林



福島県内には未だに帰還困難

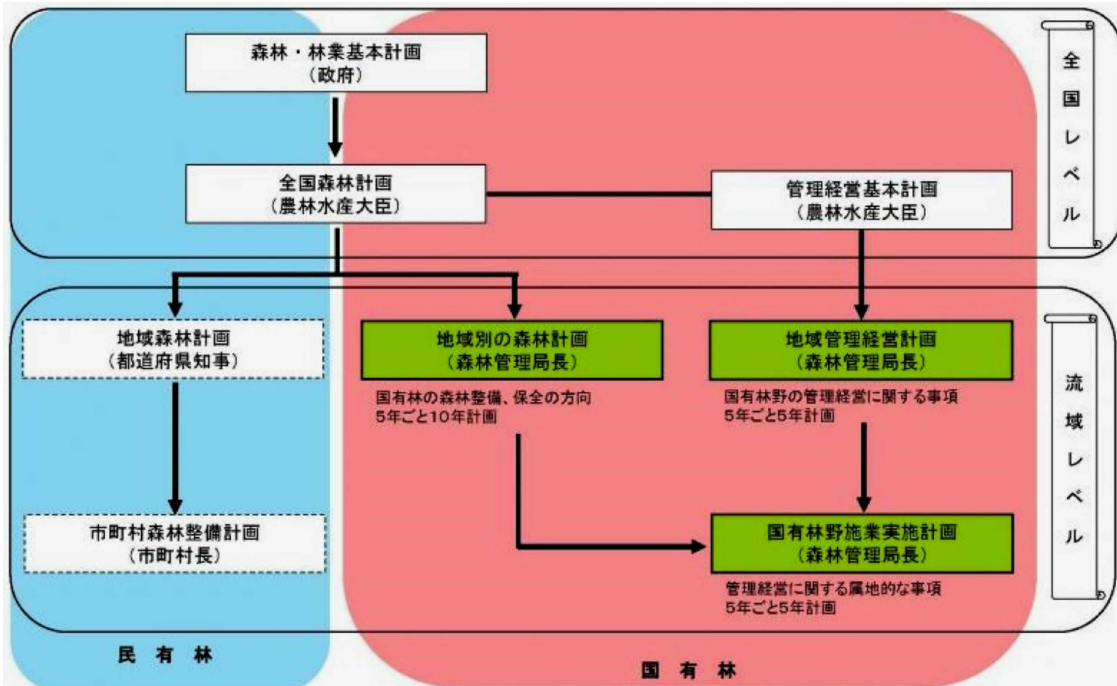
し、施設機能の回復を図るため、消波ブロック防潮工を実施しています。

令和2年度以降は、波浪による浸食防止を図るため、消波ブロック防潮工を実施予定です。

区域が存在し、治山事業等の実施も制限されているところがありますが、工事が可能な箇所での治山事業の着実な実施により、地域の安全・安心な生活の確保に貢献してまいります。

国有林の各森林計画策定にあたって

計画課



(図1) 森林計画の体系

関東森林管理局は、1都10県の森林面積の約3割にあたる119万haの国有林を管理しており、農林水産大臣が策定する「全国森林計画」や「国有林野の管理経営に関する基本計画」に即し、森林管理局長が森林計画区ごとに「地域管理経営計画」等(図1)を策定し、それら計画に基づいて適切な管理経営に努めています。

関東森林管理局では、国有林を流域ごとに31の森林計画区(図2)に分け、5年毎に地域管理経営計画等を策定しています。

具体的には、計画課の経営計画官が、

各計画区を面積や事業規模等に応じて1〜2名で担当し、各計画区の国有林を管理している森林管理署長等の意見も踏まえ、計画策定作業を行っており、今年度は阿武隈川森林計画区ほか6計画区(図3)で策定することとしています。

また、計画の策定にあたっては、地元住民等を対象とした地域懇談会の開催や局ホームページへの掲載・縦覧、学識経験者及び地方公共団体からの意見聴取等を通じて、広く国民の皆様のご意見を反映することにも努めるほか、経営計画官自らが現場の状況や課題を把握することが重要です。そのため、経営計画官は、毎年7月から8月上旬にかけて担当する各森林計画区へ1週間程度滞在し、最も現場の状況を熟知している森林管理署等の担当者と連携して現地調査(写真1)を行っています。

現地調査では、森林管理署等の担当者と共に森林踏査を行い、実際の森林の状況と森林の台帳である森林調査簿の内容に齟齬がない



(図2) 森林計画区位置図

※黒文字が、森林計画区名です。

県	森林計画区	森林管理署等
福島県	阿武隈川	福島森林管理署
		福島森林管理署 白河支署
茨城県	水戸那珂	茨城森林管理署
群馬県	西毛	群馬森林管理署
千葉県	千葉南部	千葉森林管理事務所
		下越森林管理署
新潟県	下越	下越森林管理署 村上支署
		山梨森林管理事務所
山梨県	富士川中流	山梨森林管理事務所
静岡県	静岡	静岡森林管理署

(図3) 令和元年度 樹立計画区

国を有する国民の貴重な財産であり、各計画に基づく管理経営を行うことが重要です。今後も、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、林業の成長産業化に貢献できるような、適切な計画の策定に努めてまいります。

かを確認するとともに、それぞれの森林へ将来の姿をイメージしつつ、最適な施業区域や施業方法、課題や要望について意見交換を行い、より地域の実情に応じた計画が策定できるよう検討を行います。



(写真1) 森林管理署等の担当者と連携して現地調査

今月の表紙

「姥ヶ平からの那須岳」 (栃木県那須町)

栃木県北部に位置し、日本百名山の一つでもある那須岳(茶臼岳)は、今なお噴煙を上げる活火山です。首都圏からのアクセスも良く、車で行く「峠の茶屋」から山麓のロープウェイを利用すれば、わずか1時間弱で山頂に立つことができることから年間を通じて多くの人々が訪れます。

とりわけ人々を魅了するのが秋の紅葉時期です。特に西斜面に広がる姥ヶ平(うばがだら)からの眺めは、青い空、白い噴煙を上げる那須岳を背景に、手前に真っ赤や黄色に染まった樹々が広がるという見事なコントラストを奏でており、全国でも屈指の紅葉スポットとして知られています。

このほか、春はミネザクラ、初夏から初秋にかけては多くの高山植物が咲き乱れ、季節ごとに魅力ある風景を楽しませてくれます。





高尾森林ふれあい推進センターでは、今年も山の日制定記念イベントを8月4日から11日までの期間に実施しましたので紹介します。

【親子森林探検とクラフトづくり】

8月4日(日)に日影沢キャンプ場と周辺の国有林において、親子8組16名が参加して、午前中は、職員手作りの水鉄砲による的当て、宝探し、丸太切り、薪割り、草笛教室、カントウミヤマカタバミの葉っぱによる10円磨きを行いました。お昼ご飯を食べて午後からは、子供たちは「木の実ほん」のクラフトづくり、保護者の方は、宝探しで見つけた木の実を使ったりスづくりです。

今回のイベントは初めての試みでしたが、プログラム満載で参加した皆さんからとても楽しかったとの感想をいただきました。



保護者の方々は木の実を使ってリースづくり



子供たちは「木の実ほん」のクラフトづくり



できあがった「木の実ほん」



「水鉄砲」での的当て

【まる1とー高尾GREEN CLEAN 作戦】

8月11日(日)に森林インストラクター東京会との協定イベントとして、高尾山の自然を親しみながら登山道のゴミを拾うecoハイキングを実施しました。

参加者総勢86名が4班に分かれ、登山道4つのコースから一斉にスタートし、山頂には予定どおり全員無事に到着し、昼食後に全員で記念写真を撮影しました。山の日と同じ日に生まれた女の子(9歳)も参加してくれました。

関東森林管理局からは、東京事務所と当センターの職員7名が参加し、山の日PR用の「半被」を羽織り、「のぼり旗」を持って「山の日」のPRしました。

高尾山は「ゴミの持ち帰り運動」の発祥地の地ですが、運動は浸透しているものの、燃えるゴミ45ℓ1袋と20ℓ1袋、ペットボトル20ℓ2袋、瓶・缶がそれぞれ20ℓ1袋もあり、ごみが無くなることはありません。4つのコースとも一

人の脱落者・けが人もなく当センター前の広場に予定どおり全員が到着し、閉会式を行いました。



高尾山GREEN CLEAN作戦

【期間限定・クラフト体験】

8月5日(月)～11日(日)当センター1階のクラフト体験室において、期間限定で小学生以下の児童を対象として夏休みの宿題に最適な「木の実ほん」など日替わりでクラフト作品を作りました。家族連れで満員御礼の大好評でした。



【魚取りと植物・生き物観察教室 I・II】

8月10日(土)、11日(日)に日影沢キャンプ場と周辺の小川や森林において、NPO法人「森とでんえん倶楽部」との協定イベントとして、「夏休み高尾山自然体験教室」を実施しました。2日間をとおして親子111名が参加して高尾山の素晴らしい環境の中で、生物観察、魚取り、川遊び、草笛、スイカ割り、クラフトで作ったカブトムシ・クワガタの相撲大会など盛りだくさんのイベントを体験し学習しました。



インターンシップ 受入れ!!

下越森林管理署

8月26日(月)～30日(金)の5日間、東京農工大学及び新潟大学の3年生2名をインターンとして受け入れました。森林管理署でどのような仕事を日々行っているのかより具体的に理解してもらうため、現場での実習を中心にプログラムを実施しました。

《プログラム》

1日目 測定(境界巡検の実習等)

2日目

国有林とは(制度の説明)
森林育成と資源活用(新潟木材共販市場及び造林地の見学等)

3日目

森林官業務(収穫調査の実習)
治山(事業地での説明)

4日目

当署職員からの署業務内容の説明
治山(無人航空機を利用した現地状況確認)

5日目

技術開発、ふれあい事業の説明

5日間のインターンシップを終了したインターンからは「今回学んだことや経験したことを今後の学習の励みとし、進路選択に活かしていきたい。」などの感想が聞かれました。



木材を利用した建築物等の紹介

日本の人工林資源は、今まさに、本格的な利用期を迎えており、適切な森林整備を進めていくためには、国産材の積極的な利用を促進していくことが重要です。関東森林管理局東京事務所では、東京都内における木材使用の施設や木材の需要拡大などに向けた取り組みなどについて、取材・紹介していきます。

豊洲シビックセンター（江東区豊洲） 水彩都市「江東区」豊洲の「現代の里山」！

豊洲シビックセンターは、区役所の出張所、文化センター、図書館など、区民に身近なサービスを提供する複合施設



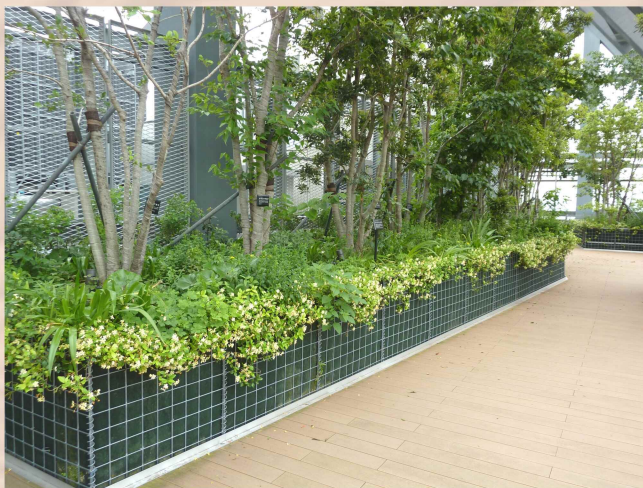
図書館



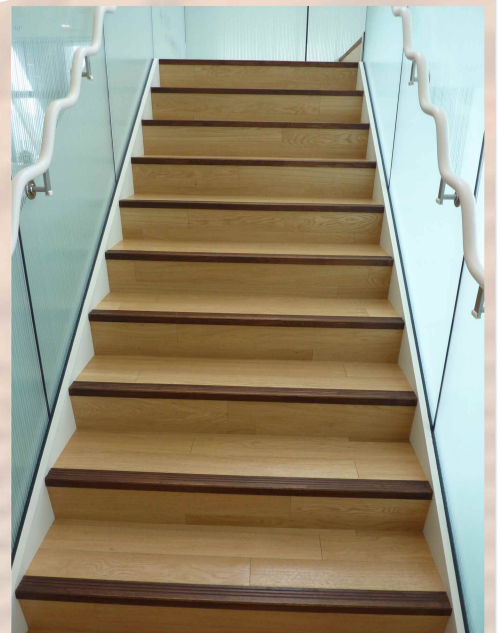
エレベーター周辺や階段に木材使用



豊洲シビックセンターでは、約132㎡の木材が利用されています。



テラスにある緑



■ ■ 編 発
行 所
F E L 集
A X 所
(027) 総 関
(027) 務 東
230・1158 森
300・13993 林
3 課 局